



はじめまして。  
このたび、カイチのWEBマーケティングおよびバスカルキッズフランチイズ担当となりました、吉岡と申します。

中高生の子供を育てる母として、日々子育てや学校行事に追われながらも、ご縁があってこの塾の挑戦に参加させていただくことになりました。

前職ではWEBディレクターとして、食品メーカーやペット関連、アパレル、家電、エステサロン、ホビーショップなど、さまざまな分野のマーケティングに携わってきました。「どうすれば商品の価値を正しく、広く伝えられるのか」、言葉やデザイン、

方法を変えて日々考える、一見クリエイティブな仕事です。しかし、自由な発想が求められる仕事こそ、実は「段取り」や「ルーティン」といった「型」が何より大切だと思います。なぜなら、確かな「型」があるからこそ、最短距離で本質に辿り着けるからです。これは勉強も同じかもしれません。基礎となる「型」を身につけることは、決して遠回りではなく、自らの可能性を広げるための最短の「段取り」だと思っております。私自身は北陸の田舎出身で、受験熱もさほど高くない家庭で育ちました。塾に通った経験もありませんでしたが、大学生の時にアルバイトで初めて学習塾という場所に出会い、大きな衝撃を受けました。「こんなに近道を教えてくれる、素敵なお場所があるのか!」というカルチャーショックです。その気持ちは今も私の中にあります。だからこそ、自分の子供にも塾という環境を活用して

欲しいと考えてきました。実際に、私自身がカイチを知ってから、子供もカイチ予備校に通い始めました。「底力のある子を育てる」という考え方や、講師の先生方の熱意、授業の質の高さに、保護者としても大きな信頼を感じています。

この魅力を、ひとりでも多くの方にお届けできるよう努めてまいります。

どうぞよろしく願いいたします。

ちなみに、私の特技は居合道(無双直伝英信流三段)です。遠い昔、学生時代に習っていました。珍しいところでは「切腹の介錯(かいしゃく)」の型ができます。居合もまた、「型」を重ねる世界です。基本を繰り返し磨くことで、いざという場面で自然に力を発揮できる奥深さがあります。ご興味のある方は、お声がけください。

## 細越のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 細越 弘明(バスカルキッズFC担当)

### 私ととあるお得意様の思い出



思い出話を語る前に、まずは少しご挨拶をさせていただきます。

私がカイチに入社して、気づけば三度目の桜の季節を迎えようとしています。この「ちょっとイイ話」を書いているのは3月22日ですが、皆さんが4月号のグローイングを手にとられる頃には、きっと八重桜がきれいに咲いている頃でしょうね。

春らしい心地よい気候になってきましたが、新しい季節が、皆さまにとって明るく楽しいスタートになりますように。



話を元に戻しますが、私が以前、印刷会社に勤めていた頃のお得意様との思い出話をさせていただきます。

その日は、朝起きた時からなんとなく体が重く感じていましたが、「まあ大丈夫だろう」と思い、出社しました。翌日からは中国の印刷会社へ出張の

予定があり、早めの午後6時ごろには帰宅するつもりでいたのですが、午後になって急に熱が上がりがり始め、ひどい咳まで出てきました。これは無理だと判断し出張を中止。上司からも「すぐ病院へ行きなさい」と言われ、車に乗り込もうとしたその瞬間、携帯に着信がありました。

「昨日納品してもらった透明封筒、間違っって裏面に印刷されているからやり直してほしい」とあるお得意様からの連絡でした。

急いでその方のもとへ向かい、お詫びとやり直しの手配を済ませてから、改めて病院へ向かったところ、診断結果はインフルエンザでした。

さて、その方とはどなたかといいますが……そうですね、カイチの「高木塾長」です。

その透明封筒は、生徒募集チラシを封入してポストイングするためのもので、集客効果も高く、多くの生徒さんが入塾されたそうです。

ふらふらになりながら当時の今福本部教室へ向かった、あの時の出来事は今でも懐かしい思い出です。

そしてカイチはその後も、算盤テキストやバスカルキッズテキストなど、たくさんのご注文をいただく大切なお得意様となっていきました。



April 2026  
Vol. 163  
毎月10日発行

【本 部】 城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201 TEL.06-6939-0008	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【高殿教室】 城東区高殿 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【カイコベ】 城東区今福西 3-4-9 TEL.06-6180-6565



高木 秀章(塾長)

## 2025年度受験を振り返って

すっかり春になりました。やはり日本人、桜の花を見ると心が弾みます。カイチでは3月の公立高校入試、大学の二次試験が終わり、3月11日からは新年度がスタートし、今は春期講習の真只中です。

今回のGROWINGでは受験が終わりましたので、この紙面を使って振り返りたいと思います。詳しくは別紙に掲載していますので是非一読下さい。

上本町の万緑会で指導している小学受験は、国立の大教大附属天王寺に2名、大教大附属平野に3名、私立は追手門学院、四天王寺、城星など17名が合格しました。国立5名は過去最高の実績です。小学受験は子供達もさることながら保護者の方との二人三脚の受験です。面接練習を始め、願書作成や当日の服装に至るまで、細かく打ち合わせをして受験を迎えました。

附属平野小学校の合格発表日は本部で万緑会の会議がありましたが、担当の山内先生は保護者からの連絡はないかと、携帯ばかり見て完全にうわの空でした。その様子を見ると、山内先生も子供達ご家族と受験を真剣に戦ってきたのだなとつくづく思いました。



大学受験のカイチ予備校、エニグマでは今年度は医学部(大分大・関西医科大学)と、歯科大への合格者が出ました。国立大学には、上記大分大を含め神戸大・教育大に8名が合格、関関同立に13名、産近甲龍に21名、立教大に1名が合格しました。

大学入試は高校入試と異なり前期・中期・後期と複数回受験できるのが特徴ですが、後者の日程になるほど合格者数は少なくなります。そのため合格難易度は上がり、さらに周りが次々に合格していく中で受験勉強を続けるプレッシャーは相当なものです。そんな状況でも最後まで諦めず、3月の後期日程で国立大の合格を勝ち取った生徒達は本当に立派でした。



▲公立入試翌日に行われた茶話会の様子。みんな受験お疲れ様!



▲今福教室の並び法願寺の桜。私の知る限りではこの町で一番早く春の訪れを教えてください。

を埋めるための勉強をしてまた、土曜日の大予想模試にチャレンジ。ハードな「追い込み」の4週間を過ごしました。私立専願生がいなくなり、少し寂しくなった教室で本当に最後の最後まで頑張りました。

自習に来ている受験生達は、静かに黙々と勉強していて「腹をくくっているな」と傍から見て感じるほどでした。自習生の中には、小学校時代にそるばんを指導していた生徒達もいて、幼かった彼らが、自分と向き合い努力を重ねている姿に、「大人になったな」と胸が熱くなりました。

合格発表では、たくさんの合格の報告の反面、不合格の生徒達が気になってなりませんでした。

カイチは決して楽な塾ではありません。私を含め先生達は、生徒、保護者と本音でぶつかる、本気で教えることを大切にしています。厳しいことも言いますし、課題もたくさん与えます。そのハードなメニューをカイチ生達の大半がクラブと両立しながら、やり抜いてきました。

カイチに最後まで通ってくれた生徒達は、みんなが遊んでいる姿を横目に頑張ってきた人達です。最初は緩さや甘さがあった彼らも、受験生となり、受験という厳しい現実と向き合う中で覚悟を決め、最後までやり切った生徒達です。

みんなは素晴らしい。だから、みんな合格させてあげたかった。

でも、残念ながら、そうはなりませんでした。

受験は自分の力で将来の進路を決められる、人生では数少ない機会です。受験の目的は当然「合格」です。生徒達も私達も、そのために猛烈に頑張ってきましたし、私達はこれからもその歩みを止めません。

しかし、受験には目的とは別に意義があります。受験の意義は「努力や工夫の仕方、そしてそれを継続できる心の持ち方を身に付ける」ことです。

そして、この力こそが社会に出た時、皆さんを支え続ける力です。

みんなは、受験と向き合い最後まで諦めなかった。各自が自分が目指す目標に挑み、最後まで自分と向き合い続けた。

悔しい気持ちは「挑んだ」からこそです。嫌な受験から逃げずに最後までやり抜いた。どうかそのことに自信を持って、前を見て歩みを進めてください。

激動する時代の中で、社会が求めているのは、学歴以上にそのような姿勢や気持ちを持った若者です。

受験生のみんな、そして家族の皆様。本当にお疲れ様。

そして、進学おめでとうございます。

- 中学英検第1タームを4月8日(水)~4月30日(木)で実施します。
- 中学中間テスト対策を4月13日(月)より実施します。(教室により実施時期が異なりますのでご注意ください。)
- 4月19日(日)は春の遠足で神戸市立王子動物園に行きます。みんなで楽しもう!
- 小学診断テストを4月22日(水)・23日(木)に実施します。

## Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

生徒目線で学び、  
生徒とともに成長した1年

萩堂 雄太(今福教室)



▲今福教室のそらばん生の様子

こんにちは、萩堂です。昨年4月に入社し、気づけば1年が経ちました。ここでは、今福教室で過ごしたこの1年を振り返りたいと思います。

1年前、私は介護の仕事と高校で政治経済の先生をしていました。「もっと生徒と深く関わりたい」という思いから転職を決意し、出会ったのが開智でした。

面接では「社会の先生になりたいです」と伝え、塾長からも「ちょうど社会の先生足りてへんから助かる」と言っていたので、入社が決まりました。

ところが今福教室に配属された私は、中学1年生の理科と英語、そしてそらばんを担当することになりました。

開智では、先生が複数教科を経験することで、生徒の「わからない」に寄り添える指導ができるようになり、また各自のキャリアプランが広がるという考えがあります。私自身も、専門外の教科に挑戦することで、生徒と同じ目線で学ぶ大切さを実感しました。

そして今年度からは、念願だった専門の社会を担当しています。

幅広い教科を経験したからこそ、社会の

授業でも生徒のつまづきに気づきやすくなり、より深い指導につながっていると感じています。

理科や英語は専門外で不安もありましたが、実際に取り組んでみると、生徒と同じように「わかるとうとする」姿勢が自然と生まれましました。

その過程で、どこが難しいのか、どこでつまづきやすいのかを自分自身が体験でき、生徒に寄り添った授業づくりにつながりました。

どれだけ専門性が高くても、生徒が理解できなければ意味がありません。

“生徒と同じ目線で学び直す”ことの大切さを、改めて実感しました。

初めて教えるそらばんは、私にとって大きな挑戦でした。

担当するのは年中さん～小学2年生の入門生。中学生とは違い、授業がつまらなかつたりテンポが悪かったりすると、すぐに態度に表れます。

だからこそ、テンポよく、楽しく、盛り上がる授業を意識するようになりました。

そらばん指導は、授業の“いろは”を改めて学ばせてくれた貴重な経験です。



▲なそのツルのポーズをとる萩堂先生

今福教室で働く中で、心を動かされた場面がたくさんありました。

英語の授業で、何度挑戦しても小テストに合格できない生徒がいました。それでもその生徒はあきらめず、何度も挑戦し続けました。その姿を見て、「この生徒、かっこいいな」と心から思いました。

勉強が得意な生徒もいれば、苦手な時間がかかる生徒もいます。多くの場合、苦手だと途中であきらめてしまいます。

私自身、小学生の頃に習っていたラグビーを、なかなか上達しないことが理由で、中学でやめてしまった経験があります。

しかし、目の前の生徒達は違いました。

苦手から逃げず、食らいつき、何度も挑戦する姿を見せてくれました。

自習中に何度も質問する生徒、休みの日に自習に来て授業に追いつこうとする生徒。そんな姿を見るたびに、「開智に入社してよかった」と心から思いました。

入社して1年、多くの方に成長の機会をいただきました。

研修してくださった塾長、諸口教室の高木先生。

細かいところまで丁寧に教えてくださる岸田先生。

英語で困ったときに助けてくださる大塚先生。そらばんの島先生、菅野先生。

そして、生徒・保護者の皆様。

まだまだ未熟ではございますが、これからもどうぞよろしく願いいたします。

## Education



## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

## トーキングキッズ 新しい挑戦

峯上 颯太(トーキングキッズ主任)

今年度のトーキングキッズでは、「新しい挑戦」をテーマに、指導体制や学習サポートの面で新たな取り組みをスタートしています。その大きな柱の一つが、**新しい先生方の加入**です。



▲トーキングキッズの新しい先生達。右が大塚先生。真ん中がアイラ先生。

まず一人目はアイラ先生です。アイラ先生はこれまで英会話教室で指導してきた経験があり、英語を教える力は非常に高く、子供達にも分かりやすく楽しい授業を展開しています。それに加えて、持ち前の明るさと元気な人柄で、初めて会った子供達の心もすぐにつかみまします。授業が始まると教室は活気にあふれ、子供達も夢中になって取り組むため、「もう終わり?」と感じるほどあっという間に時間が過ぎていきます。アイラ先生の存在は、トーキングキッズにまさに新しい風を吹き込んでくれるものとなっています。

そしてもう一人が大塚先生です。大塚先生は、柔らかく穏やかな姿勢で子供達に接し、まるで包み込むような安心感を与えてくれる先生です。そのため子供達もリラックスして授業を受けることができ、安心して英語に挑戦することができています。また、留学経験もあり、きれいな発音を生かした指導も大きな魅力の一つです。実際の英語の音を大切にしながら教えることで、子供達も自然

と正しい発音を身につけることができています。

二つ目の挑戦が「**ステップアップシート**」の導入です。これは、子供達が授業の中でできるようになったことを先生が評価し、成長を見える形にしていくシステムです。このシートを活用することで、子供達は「自分が何をできるようになったのか」「次は何を頑張ればよいか」が分かるようになり、学習へのモチベーション向上にもつながります。

さらに、このステップアップシートは保護者の皆様にとっても、お子様の成長を具体的に知ることができる機会になります。普段の授業の様子やできるようになったことを形としてお伝えすることで、ご家庭でも成長を実感していただけるようになります。なお、このシートは各学期(1学期・2学期・3学期)の終了時にお渡しする予定です。

三つ目の挑戦は、月に一度実施する**スピーチ発表会**です。月末に行う外国人講師の授業の中で、それまでに習った英語表現を使い、子供達一人ひとりにスピーチしてもらいます。英語はインプットだけでなく、実際に使ってみるアウトプットによって初めて自分の力として定着していきます。話す経験を積むことで、知識が「使える英語」へと変わっていきます。

そのためにも、まずは習った表現をしっかり覚え、繰り返し練習することが大切です。そしてその成果を発揮する場として、このスピーチの機会を設けています。習った表現を

使って実際に話す経験は、子供達にとって大きな成長のきっかけになります。

また、普段は人前で話

すことが恥ずかしいと感じる子ども、比較的少人数のトーキングキッズの授業の中で、外国人の先生の明るく前向きな雰囲気の中で発表することで、少しずつ自信をつけていくことができます。「英語が話せた」という成功体験は、子供達の自信につながり、さらなる英語学習への意欲向上にもつながると考えています。

そして四つ目の挑戦として、今年度から**講師間の会議を英語で行う**取り組みも始まりました。英語で会議を進めることで、外国人の先生方もより積極的に意見を発信できるようになり、多様な視点から授業や運営について話し合うことができるようになっていきます。その結果、これまで以上に実りのある、有意義な会議へと変化してきています。

新しい先生、新しい評価システム、新しい発表の場、そして新しい会議の形。この四つの挑戦を通して、トーキングキッズはこれからも子供達一人ひとりの成長に寄り添いながら、より良い英語教育を目指してまいります。これからのトーキングキッズの進化にもぜひご期待ください。



▲今津教室のトーキングキッズのコマ。リラックスしたムードで学んでいます。